

電機・情報ユニオン

2014年5月10日 第32号
 発行 **電機・情報ユニオン**
 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3
 エムエフ新橋601
 Tel&Fax 03-6450-1777
 Email: denkiunion@gmail.com

ルネサスは、雇用を守れ 玉川事業所、相模原事業所を残せ

ルネサスエレクトロニクスは、2010年に発売して以来、人減らしリストラを毎年強行し、この4年間で2万人を退職に追い込みました。

そして、今回、産業革新機構から送り込まれてきた作田会長らが、2016年度に、1ドル80円の換算で6000億円の売り上げ、2桁以上の経常利益をあげる「ために」900億円の固定費削減が必要」の想定で、5400人の人員削減、6000人の広域配転などを柱とする大リストラ案を発表しました。

この6000人の広域配転に関連して、ルネサス玉川事業所と、ルネサス相模原事業所が閉鎖になり、そこで働くルネサス社員2600人（玉川・2300人、相模原・300人）の全員が移動対象で、茨城・那珂事業所には200人、群馬・高崎事業所には500人、東京小平・武蔵事業所には1600人が予定されています。

職場では、「母子家庭なので、通勤できない」

単身赴任になり、家族が心配」などの深刻な声が多く出され、特に、多くの女性社員は「退職せざるを得ない」状況に追い込まれています。

リストラ反撃 大宣伝行動 パート3

神奈川労連、川崎労連、ルネサス懇、地域の民主団体、電機・情報ユニオンなどをつくるルネサスリストラかながわ対策会議・準備会は4月21日（月）、ルネサスの大リストラに反撃する「大リストラ反撃大宣伝行動・パート3」をルネサス玉川事業所が所在するNEC玉



4月21日（月）
ルネサス玉川での宣伝行動

川事業場の3つの門前で20名の参加で行いました。7時30分の宣伝行動開始時に降っていた小雨も8時過ぎには降りやみ、横断幕を掲げての宣伝ができました。参加者の意気込みとルネサス懇ピラ17号を1492枚職場に届けました。

ハンドマイクの訴えで、米田徳治委員長は「ルネサスは大幅な経常利益を上げながら、身勝手なリストラ計画を強行している。職場を確保するのは企業の責任。『玉川事業所の存続を』の声を職場からあげていきましょう」、神奈川労連の住谷和典副議長は「このような酷いリストラは聞いたことはありません。辞めないで、相談をお寄せください」、中村由紀子神奈川支部長は「多くの女性が退職に追い込まれている。ルネサスは育児介護休業法を守れ」、ルネサス懇の谷口利男代表は会社や職場の状況を詳しく紹介し、労働者をモノのように異動させることは許さない」、神奈川労連の山田浩文事務局長は「玉川・

相模原の両事業所を存続させるため、神奈川の仲間には連帯してたたかう」など、熱く訴えました。

職場と地域のたたかいを
結集する大闘争に

私たちはこの間、3回の門前宣伝を、6回の相談会を行ってきました。3月30日（日）には、12団体53人の参加で「ルネサスリストラ対策シンポジウム」を成功させました。職場と地域のたたかいの結集をいっそう強化するため、5月17日（土）に「ルネサスリストラかながわ対策会議」を結成します。

第32号の紹介

- 1面 ルネサスは、雇用を守れ！
- 2面 政策学習会 国際労働基準を職場のなかに
第4回中央執行委員会
米田委員長メッセージ25
- 3面 第85回メーデー
- 4面 交流のひろば、告知板